

医薬品管理学

Clinical Drug Management

薬 : E3-11412MY

医療科目 4 年／前期 1.5 単位 必修科目

科目責任者 山谷 明正(薬学教育研究センター／小児周産期薬学)／山崎 紀子(薬学教育研究センター／地域医療学)

■ 教育目的

医薬品の管理と供給の意義と必要性を理解し、正確かつ円滑に供給し、その品質を確保するために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。【卒業認定・学位授与の方針 : YD-①～③】

■ 学習到達目標

1. 医薬品管理の意義と必要性について列挙する。(知識)
2. 特別な配慮を要する医薬品の管理と取り扱いについて調べ修得する。(知識・技能)
3. 医薬品管理業務の中で誤りを生じやすい例を列挙し、それを回避するための具体策を提案する。(知識、技能、態度)
4. リスクマネージメントにおいて薬剤師が果たしている役割を討議する。(知識・態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：医薬品管理の意義と必要性を調べておく。(30 分以上)

復習：医薬品管理における薬剤師の役割を実践と結び付けて確認する。(30 分以上)

■ 授業形態

講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	製剤化の基礎 1	概論 院内製剤の意義、手続き、品質管理	F(2)-⑤-1,6
2	院内感染	院内感染の回避法	F(2)-⑥-4,5,6
3	副作用 1	副作用の初期症状	F(2)-②-1 F(3)-④-1
4	副作用 2	副作用と検査所見	F(2)-②-1 F(3)-④-1
5-7	特別な配慮を要する医薬品 1	生物製剤、血液製剤、放射性医薬品 配合変化と相互作用	F(2)-②-1 F(2)-③-5 F(2)-⑥-4,5,6
8	医薬品の管理と供給	流通と管理	F(2)-⑤-2
9	医薬品の安定性	代表的な剤形と安定性、保存方法	F(2)-⑤-8
10	特別な配慮を要する医薬品 2	毒薬・劇薬、麻薬 向精神薬、覚せい剤、覚せい剤原料	F(2)-⑤-3
11	製剤化の基礎 2	薬局製剤の意義、手続き、品質管理	F(2)-⑤-7 F(5)-③-3
12	消毒薬	用途、使用濃度、注意点	F(2)-⑥-4,6
13	安全管理 1	事故事例、原因	F(2)-⑥-1,2,3,7
14	安全管理 2	誤りを生じやすい投薬例	F(2)-⑥-1,2,3,7
15	総合演習	まとめ	

■ 授業分担者

山谷 明正(No.1～7)、山崎 紀子(No.8～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、解説・説明をする。

期末試験の成績(100 %)で評価する。

■ 教科書

プリント